

# 審査員 講評



審査員長  
**池上 彰**  
ジャーナリスト

これまでの10回を振り返ると、ほほえましくこどもらしい手紙に心を動かされて、作品を選んでいることもありましたが、今回は、応募総数が増えたこともあるのか、文章力が格段にあがっており、結果として観察力、表現力が見事な作品を選ぶことができたという手ごたえがありました。反面、優れた作品の中から入賞作品を選ばなくてはならないという悩みもあるのですが、読んでいて思わず涙が溢れ出てきそうになる心うたれる作品も多かったですね。次回も素晴らしい手紙に出会えることを楽しみにしています。



審査員  
小峰書店  
代表取締役社長  
**小峰 広一郎**

今回2回目の審査を務めさせていただきましたが、前回同様全ての作品からこどもたちが純粋な気持ちで精一杯生き、成長しているのを感じ取ることができました。日常生活の何気ない出来事からも、改めて感謝の気持ちを手紙に表すことで、いろいろな気づきを得ていることがわかります。そして、その気づきは明るく前向きな気持ちにつながり、家族や友人など周りの人に幸せの輪が広がっていくのだなと、「ありがとうの手紙コンテスト」の意義を改めて感じた次第です。これからも「ありがとう」から始まる、たくさんの素晴らしい作品が生まれてくることを楽しみにしています。



審査員  
小説家、童話作家  
日本ペンクラブ  
「子どもの本」委員会メンバー  
**野中 柊**

今回初めて、このコンテストの審査員を務めさせていただくことになり、こどもたちの手紙を読んで、その生き生きとした表現力に、私自身、作家として、とてもよい刺激を受けたように思っています。日々の事柄を見つめるまっすぐなまなざし、ユーモラスな想像力、大好きな人や物への素直な感謝の心、そして、伸びやかな文章に触れ、微笑ましく感じると同時に、気づかされたこと、学んだことが多々ありました。私も今、素敵な手紙を書いてくれたこどもたちに「ありがとう」の気持ちでいっぱいです。



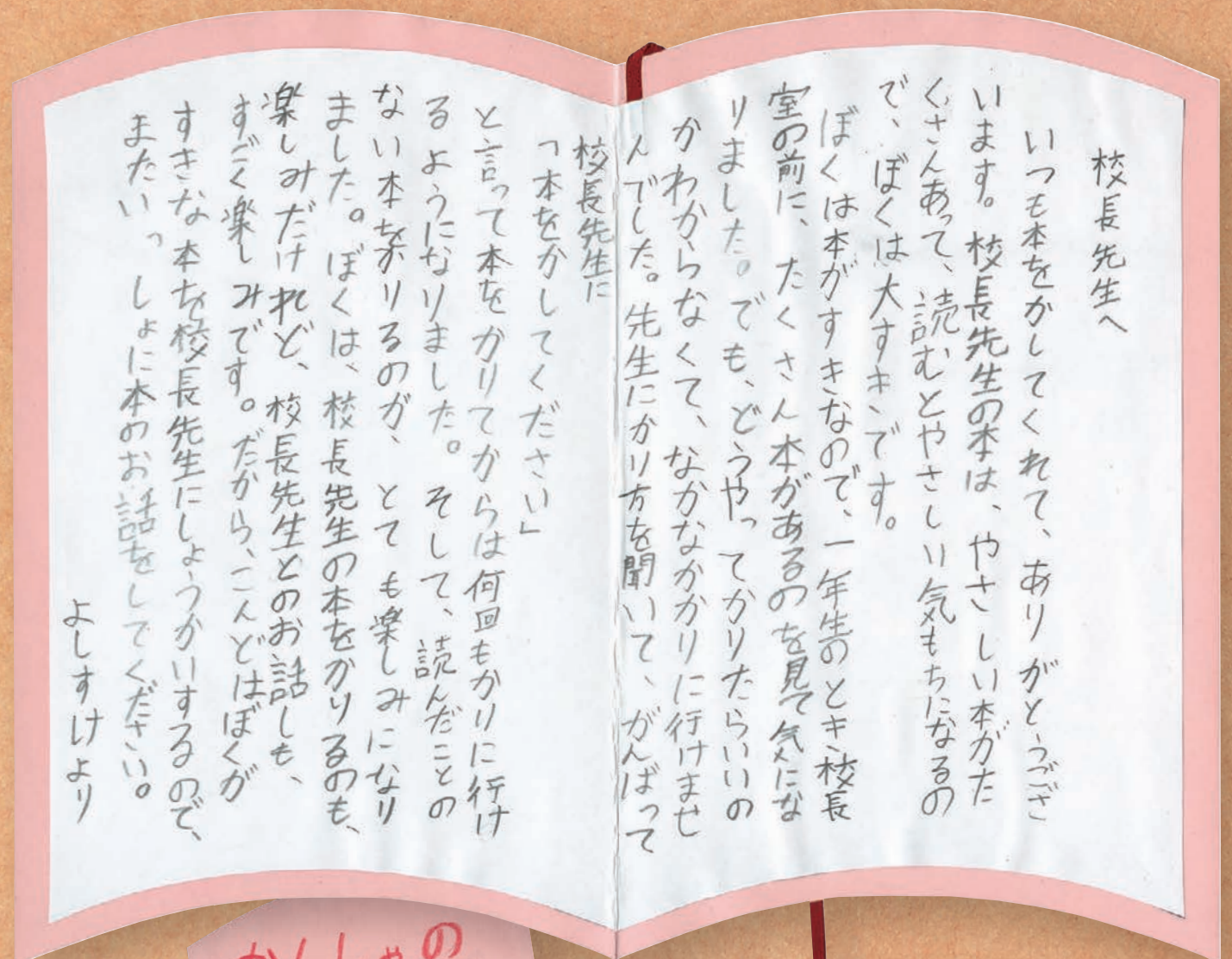
審査員  
株式会社ファミリーマート  
取締役 専務執行役員  
**中出 邦弘**

「ファミリーマートありがとうの手紙コンテスト」は、2019年度から文部科学省後援事業となりました。この場を借りて、10年の長きにわたりご協力いただきました先生方、保護者の皆様、そして審査員の先生方に御礼申し上げます。また、昨年を上回る40,130通の応募をいただいたことに関係者一同、心より感謝申し上げます。読ませていただいた作品の中には、自らが辛い思いをしながらもきちんと相手を思いやり、感謝の気持ちを伝えている手紙があり、このような豊かな感性を持つこどもたちにあたたかい手を差し伸べたい気持ちがわきあがった次第です。ファミリーマートでは昨年より「ファミマこども食堂」を各地で開催しています。地域のこどもたちのコミュニケーションの機会を設け、本コンテストとともに広げ、こどもたちが素直に「ありがとう」と言える環境をつくるお手伝いを社会的使命をもって取り組んで参りたいと考えております。次年度もよろしくお願いたします。



審査員  
児童文学作家  
日本児童文学者協会所属  
**廣嶋 玲子**

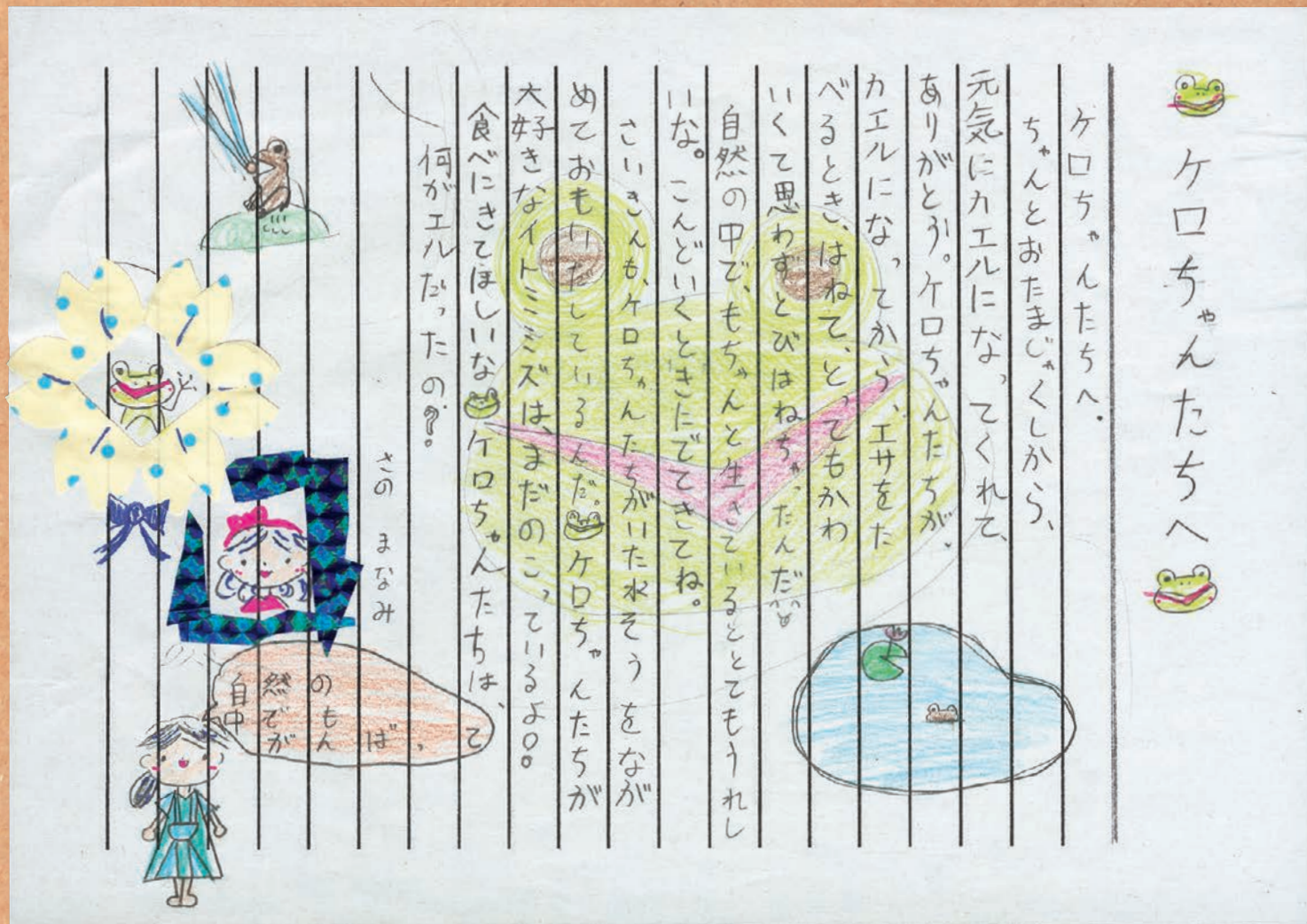
私にとって、今回初めての最終審査会となりました。こどもたちの手紙には、素直な気持ち、家庭の事情、日々の暮らしぶりなどがあふれていて、まるでさまざまな映画を見ているかのようでした。感動したり、ふきだしたり、文章力や工作としてのセンスに驚いたり。とにかく新鮮で、「次はどんな子がどんな思いで書いたのだろう?」と、わくわくしながら読み進めていきました。優しさに満ちた内容もたくさんあり、「ああ、日本って、まだまだ捨てたもんじゃない」と思えたことも、大きな喜びでした。手紙を送ってくれたこどもたち、本当にありがとう!!!



北海道・東北ブロック  
**最優秀作品賞** 低学年の部  
こせき よしすけ  
**小関 義恭さん(2年)**  
白石市立白石第一小学校

審査員から \* 校長先生のおかげで読書の楽しさを知ることができた感謝を綴る手紙。勇気を出して声をかけたエピソードを交え心の動きをこまやかに表現している。





北海道・東北ブロック

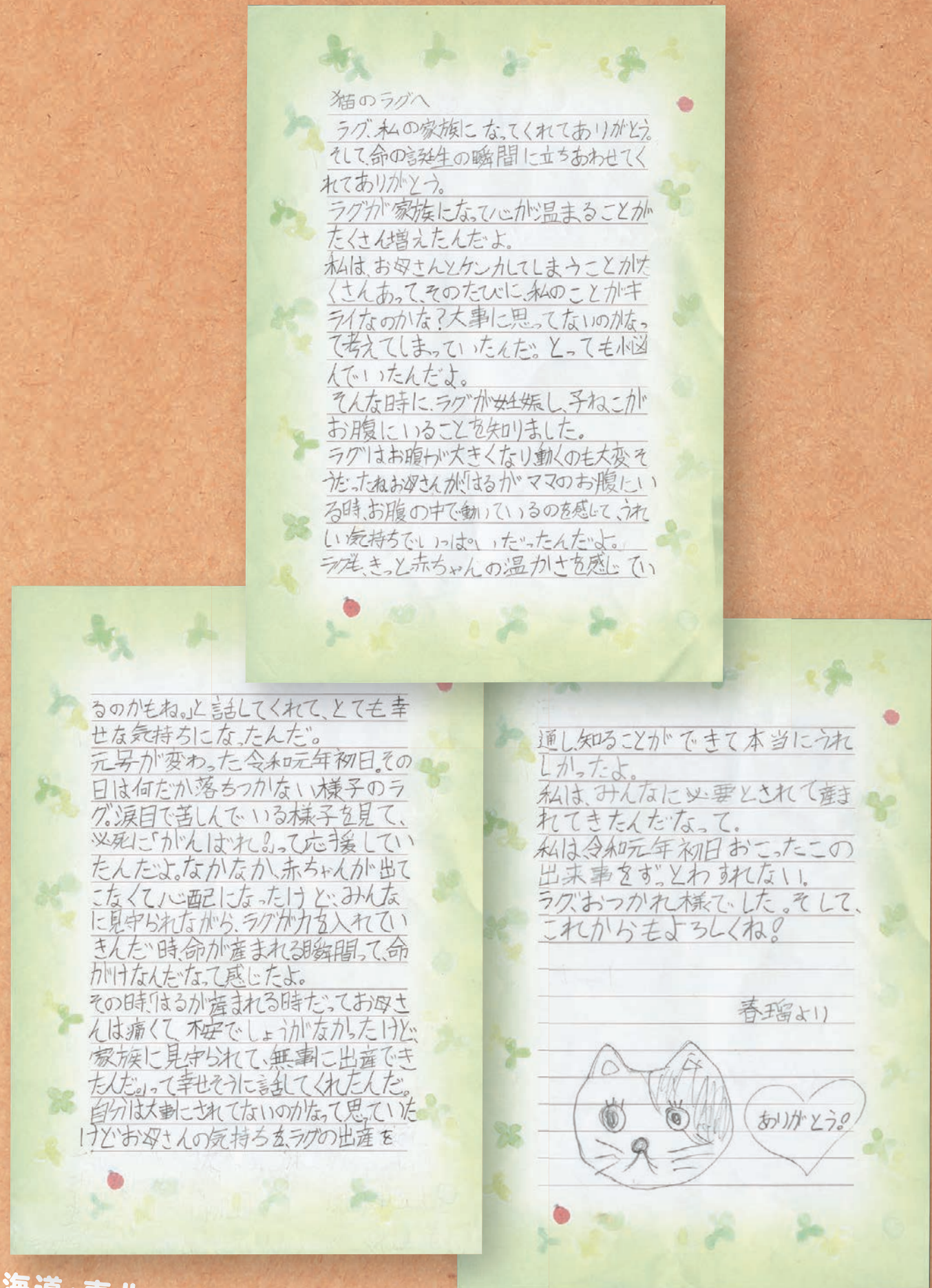
最優秀作品賞

中 学年の部

佐野 茉波さん(3年)  
 仙台市立宮城野小学校

審査員から

カエルの成長を見守る、愛情深い気持ちが描かれている。自然へ戻っていく命を大切に思う気持ちが見える。ユーモラスな最後の一文もよい。



北海道・東北ブロック

最優秀作品賞

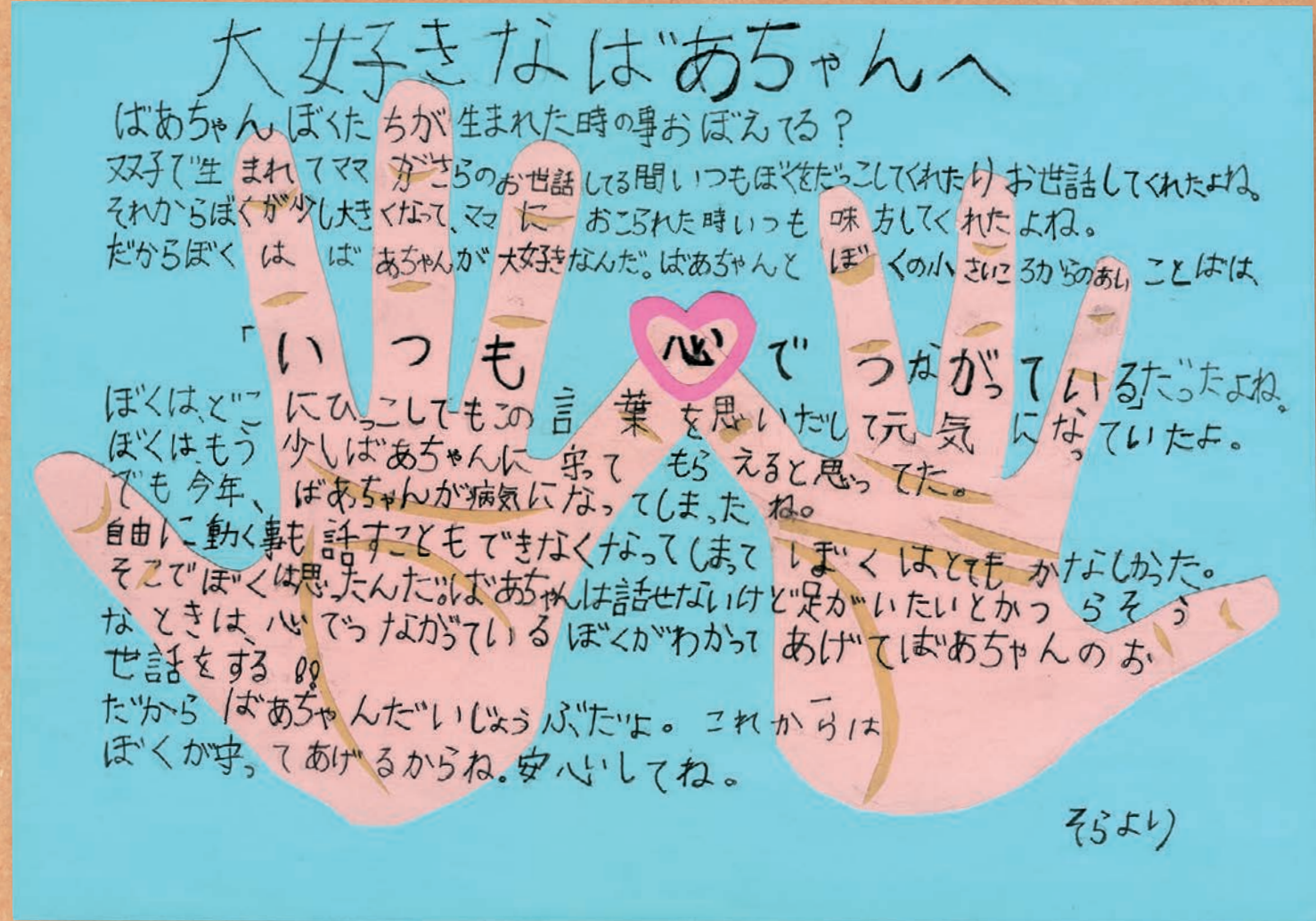
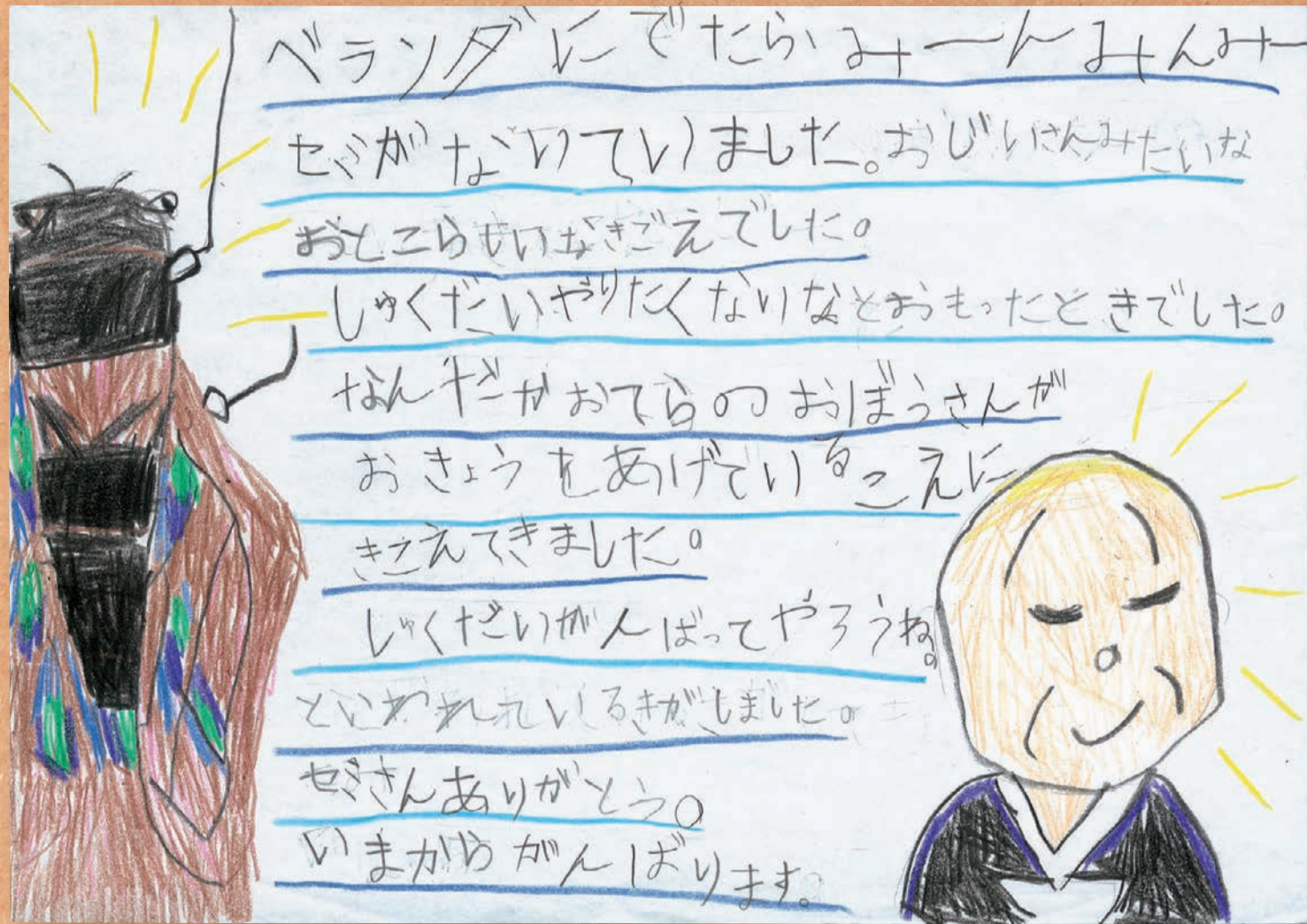
高 学年の部

三丁目 春瑠さん(5年)  
 酒田市立鳥海小学校

審査員から

子猫誕生の瞬間を見た経験から、自分に注がれている愛情までを思い感謝の気持ちを綴っている深い作品。母への感謝が丁寧に書かれている。





関東1ブロック

最優秀作品賞

低  
学年の部

ささき ゆうま  
佐々木 悠真さん(1年)  
海老名市立東柏ヶ谷小学校

審査員から ✨ ユニークでインパクトのあるイラストの意味が、読み進めていくとわかる構成。  
セミの鳴き声をお坊さんのお経に比喻する個性的な感性が秀逸。

関東1ブロック

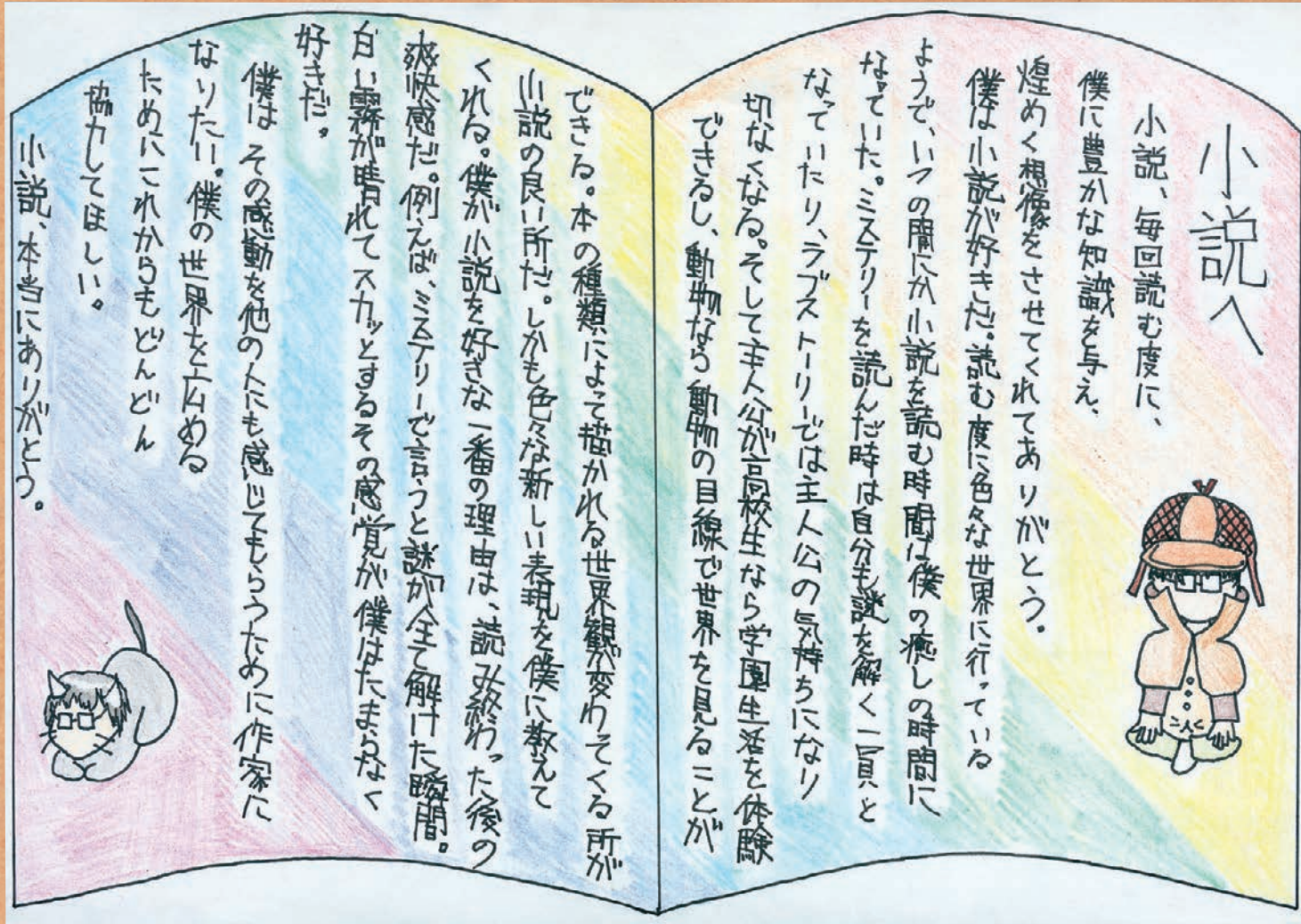
最優秀作品賞

中  
学年の部

えじり そら  
江尻 蒼空さん(4年)  
川崎市立古川小学校

審査員から ✨ 双子の自分たちを誕生からずっと見守ってくれた祖母への感謝を綴っている作品。  
心がつながっている様子を手紙全体でうまく表現している。





どうぞのやさしいをつくるひとへ No. \_\_\_\_\_  
DATE \_\_\_\_\_

どうぞのやさしいはママとおさんぽやくるまでとおるみちにおります。  
でんしゃがなくておるのでおとうとがたしはきなみちです。  
せんろでたまたまおまがならびそのとなりにはちいさなこ  
はたけがほつとあります。みちにはまきのベンチが  
たぐんあるのでおべんとうをたべながらでんしゃに  
あはさつをします。なつになるとはたけのまきのベンチ  
にみどりのかこがおいでおます。  
やさしいでいっしょにどうぞと、ダンボールのきれまじり  
かいてあります。かごのなかにはきゅうりやおくら  
なすがはいっていることがあります。  
「せつたかかいただいてたべてみようか。いたたきま  
ありがとうございます。」とママがいて、やさしいを  
いいただきました。  
やさしいもこれもスーパーでうっているやさしいと、みたぬが  
ちかびます。こけのしほのようじまがでいたがとた  
考はきかたりおもしろかたちをしています。

7mm×34Ff

No. \_\_\_\_\_  
DATE \_\_\_\_\_

テレビのニュースでこしはあめがつづいておひさまが  
でなれのでやさしいがうまくそだたないというのをみました。  
これもそうなのかなあ。たべられるのかなあ。よしはばい  
になりました。  
ママがおくらのおかかほつあえやきゅうりあきづけを  
つくりくれました。あまてやさしいのあじをとてもよくかんじ  
ました。あめとおひさまのあじがするようなきがしました。  
それからこのみちをおるたび、きょうはあるかな？とん  
おやさしいかな？とたのしみになりました。  
どうぞのやさしいをつくるひとには、じつはまだ、  
あつたことがありません。あえたらおれいかにしたいであ  
おれいして、かあにたおやさしいをいっしょありがとうございます。  
もりもりたべています。たべものはかんたんにはきでな  
で、のこさずたべることここがけす。  
これからもおいしいやさしいをそだててください。  
  
ながほり あつなより

7mm×34Ff

関東1 ブロック

最優秀作品賞

高 学年の部

なかの ふみのり  
中野 文統さん(6年)  
横浜市立南山田小学校

審査員から

小説を通して培った豊かな感性を小学生とは思えない語彙力で表現した作品。  
数多くの登場人物に自己投影していく自分を生き生きと描いている。

関東2 ブロック

最優秀作品賞

低 学年の部

ながほり あつな  
永堀 篤奈さん(1年)  
成田市立公津の杜小学校

審査員から

自然の恵みを大切に味わっている家族の情景が目に見え、天候不順の中、  
野菜を作ってくれた農家の方への感謝がこどもらしく書かれている。



# みんな、みんなありがとう

私は今たくさんの人にありがとうをいいたいです。  
 なせかという一年前パパが急にたおれてしまって救急車に  
 運ばれました。  
 最初はベッドですごくおはかりの毎日をすごしていました。  
 短い其期間でたくさんのお手術をしました。  
 そこから少しずつ回復して、少しずつリハビリもできるようになりました。  
 パパは、つらいリハビリをたくさんや、頑張ったから車いすものらないで  
 つえとそうぐだけ歩けるようになりました。  
 パパが歩けるようになった家におえ、これるようになった1年間の間に  
 本当にたくさんの人に助けられました。  
 手術を何回もして命をくれてくれた澤田先生。  
 パパのことを夜中もずっとみてくれたおんじさん。  
 パパが歩けるようにまごしてくれたリハビリの先生。  
 今のパパの足のかわりになっいる大事なそうぐを作ってくれた人。  
 今もパパをささえていつもはげましてくれるいいじとはあは。  
 私やお姉ちゃんもさみしくならないように一緒にいてくれた  
 おじさんやおばさんやいとこのみんな。  
 いつもいっしょにいてくれたごはんを作ってくれて遊んでくれる  
 ママ。  
 いつもいっしょにいてくれたり、あそんでくれたお姉ちゃん。  
 みんな、みんなにありがとうを伝えたいです。  
 パパは今でも足とか手がかたまらないように車いすしたり、のばしたり  
 しています。あと話すりハビリもしています。  
 手術をしてくれた澤田先生は何回も命をくれてくれたパパにとど  
 命のおんじさんです。ありがとう澤田先生。  
 パパ、今までつらいリハビリをがんばって歩けるようになってくれた  
 本当にありがとう。



お父さんへ

お父さんはいつもお仕事がいそがしくて  
 なかなか早くお家に帰ってこれないよね。  
 でもたまに仕事が早く終わってぼくが寝る前  
 に帰ってこれた日はぼくといっしょに寝てくれて  
 ありがとう。ぼくはお父さんとふんの中  
 お話するのが大好きだよ。ぼくが先に  
 ふんに入って「お父さん、まってるね」「わかったよ  
 少しだけまてね」と言われてる時でも  
 わくわくするよ。ぼくたちは色々な話をするよね。  
 学校のこい、林の日のこと、サッカーのこと。この前ぼ  
 くが「今日お母さんにだらしない、おこられた。」  
 と言ったらお父さんも今日お母さんに出したらしま  
 っておこられたよ。仲間だね。といって2人で  
 笑ったね。ぼくとお父さん2人の男の時間がと  
 ても楽しいよ。色々な話をしているうちに気づくと  
 ぼくはねてしまふね。お父さん、いつもいそがしくて  
 つかれているのに、ぼくとたくさん話してくれてありがとう。

柊太より



関東2ブロック

最優秀作品賞

中  
学年の部

二本松 杏海さん(4年)  
市川市立真間小学校

審査員から

父の病を支えてくれた方への感謝の手紙。まわりの方たちがどんな思いで  
 寄り添ってくれたかを、深い観察力で見つめ、丁寧に表現している。

関東2ブロック

最優秀作品賞

高  
学年の部

板垣 柊太さん(6年)  
千葉市立蘇我小学校

審査員から

父と息子の温かい交流を、並んで寝る姿とともに表した作品。  
 時間の許す限り一緒に寝て、話をする二人の様子がほほえましく描かれている。





とくでおしごとをしているパパへ

いつもかそくとはなれてとくでおしごとをがんばってくださり、ありがとうございます。一人で生かしているからおせんたくやごはんも自分でやっていたいへんね。車でばんばん走ってうんてんして、つかれるよね。金曜日のよるにはかえってきてくれるんだよ。よい日うちにはたらき今日あったおしごとをお話したり、いっしょにごはんを食べたり、おかえり、を言ってあげられるのに...

パパのおしごとを一通り見に行ったとき、大きい車にのったり、さかいをのったりして、わたしの「おしごと」っておもしろい。ほかにもヘルメットやヘルメットをつけてくれたり、ヘルメットを高いところからはなして、みせてくれたりしたね。とってもうれしかったよ。



これはまい日お話をしたいし、いっしょにがんばりたいけど、かそくのためにがんばってくださっているのを知っているからわたしも学校でがんばろうとおしごとをやるよ。パパもけがしないように車のうんてんにも気を付けておしごとをがんばってね。



中部・東海ブロック

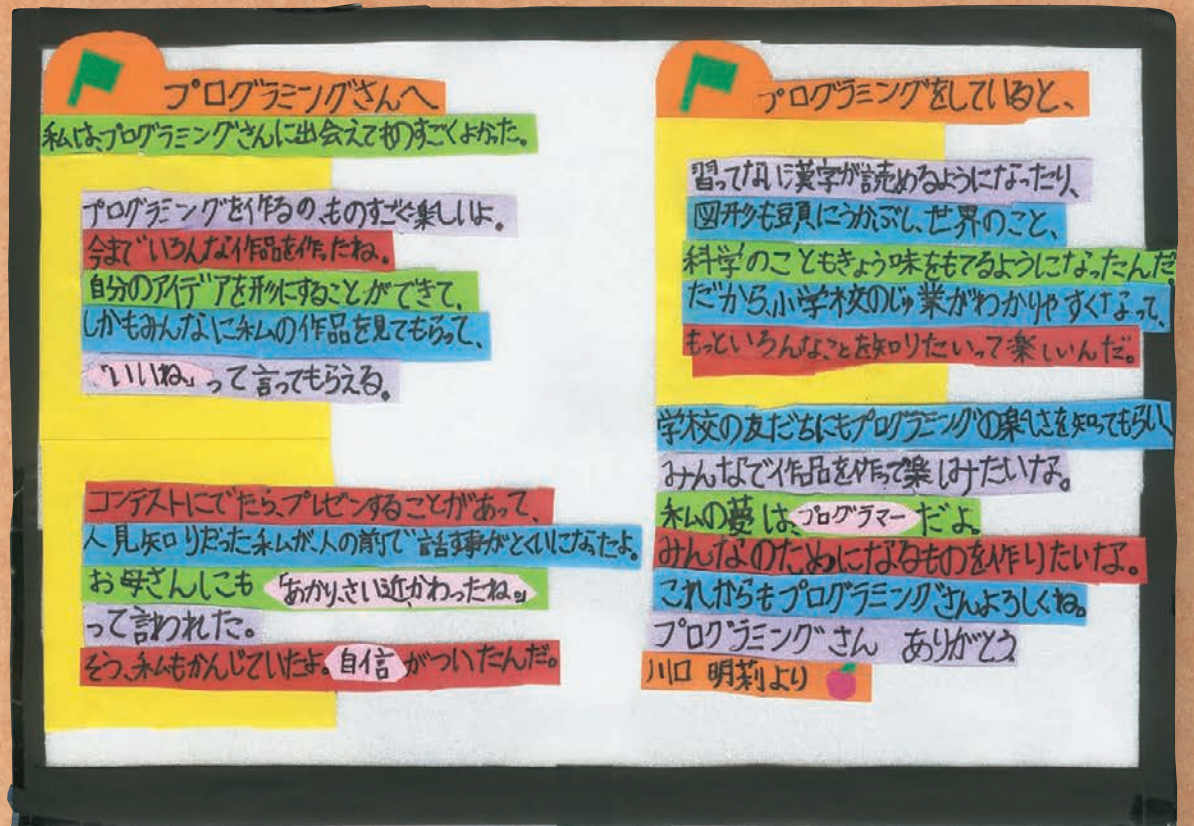
最優秀作品賞

低学年の部

なかやま ちなつ 中山 千夏さん(2年) 浜松市立内野小学校

審査員から

単身赴任の父への思い。仕事場で働く父への尊敬や体調を思いやる気持ちもこまやかに描かれている。家族のあたたかさを感じさせる構成もよい。



プログラミングさんへ

私はプログラミングさんに出会えて初めよかった。プログラミングを作るのものが楽しいよ。今までいろんな作品を作ったね。自分のアイデアを開発することができて、しかもみんなに自分の作品を見てもらって、いいね、って言ってもらえる。

コンテストにでたらプレゼンすることがあって、人見知りだった私に人の前で話す機会がとってほしいよ。お母さんにも「おかしな話だね」と言われた。そう、私もがんばります。自信がついたんだ。

プログラミングをしていると、

習った日に漢字が読めるようになったり、図解も道具にかぶる世界のこと、科学のこともきょう味をもてるようになったんだから、小学時代の授業がわかりやすくなる。もっといろんなことを知りたいて、楽しいんだ。

学校の友だちもプログラミングの楽しさを知ってもらい、みんなで作って楽しみたい。私の夢はプログラマーだよ。みんなのために作るものを作りたいな。これからもプログラミングさんよろしくね。プログラミングさん ありがとう 川口 明莉より



中部・東海ブロック

最優秀作品賞

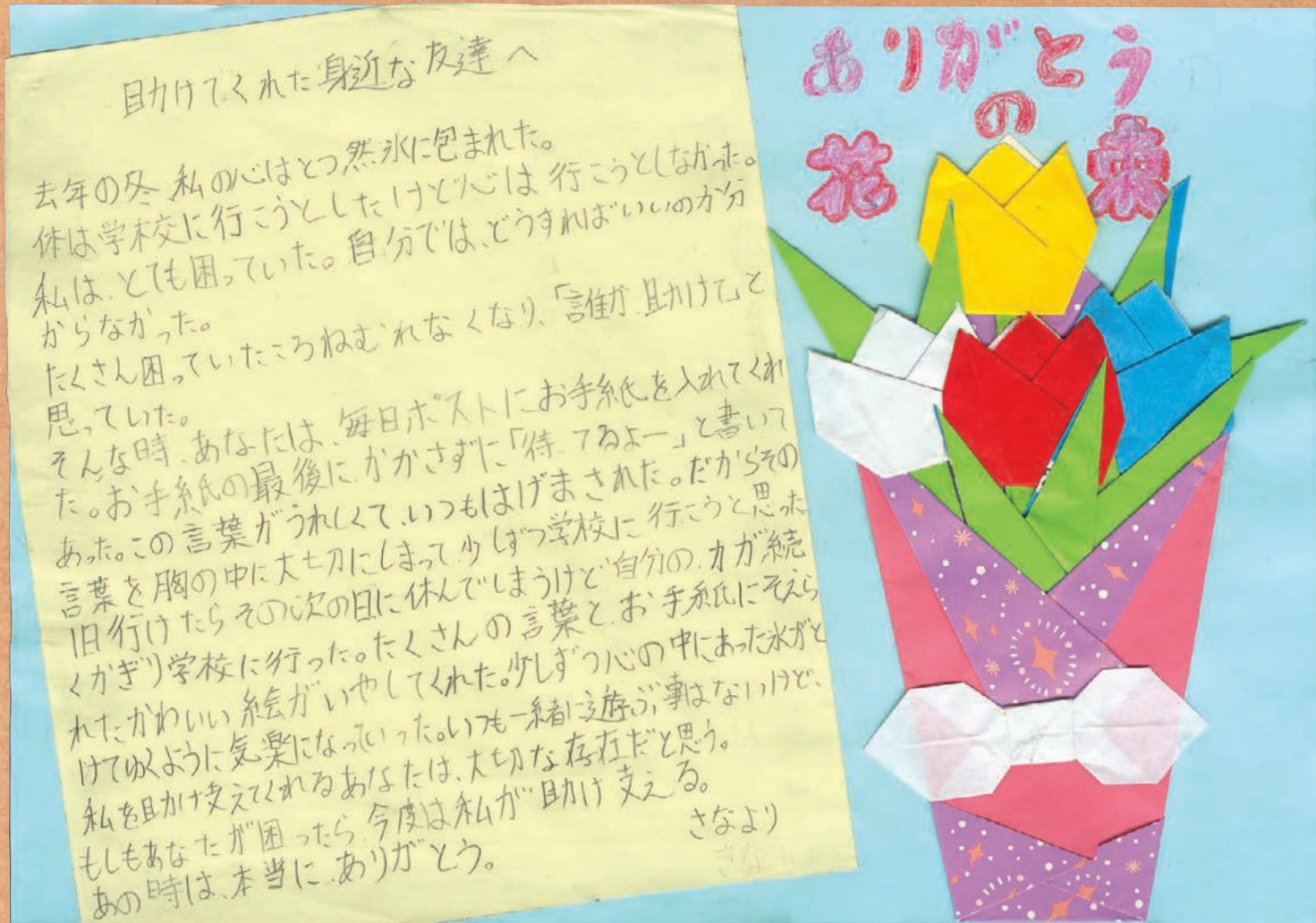
中学年の部

かわくち あかり 川口 明莉さん(3年) 名古屋市立八社小学校

審査員から

プログラミングを学ぶことで得た新しい気付きや発見の喜びを豊かに表現しながら、自分自身が成長したことを生き生きと描いている。





目かけてくれた身近な友達へ

去年の冬、私の心はとろけ水に包まれた。体は学校に行こうとしたけど心は行こうとしなかった。私は、とても困っていた。自分ではどうすればいいのかわからなかった。たくさん困っていたころねむれなくなり、言おうと決まっていた。思っていた。そんな時、あなたは、毎日ポストにお手紙を入れてくれた。お手紙の最後に「待つよー」と書いてあった。この言葉がうれしくて、いつもほげまされた。だからその言葉を胸の中に大事にし、少しづつ学校に行こうと思わなくなった。旧行けたらその次の日に休んでしまうけど、自分のカガネをくかぎり学校に行った。たくさんのお言葉とお手紙に支えられて、かわいいうちがいやしてくれた。少しづつ心の中におたまりができて、おたまりがなくなってきた。いそいそと遊ぶようになった。私を支えてくれるあなたは、大切な存在だと思ふ。もしもあなたが困ったら、今度は私が助け支える。あの時は、本当にありがとう。 さなより

ありがとうの花の森



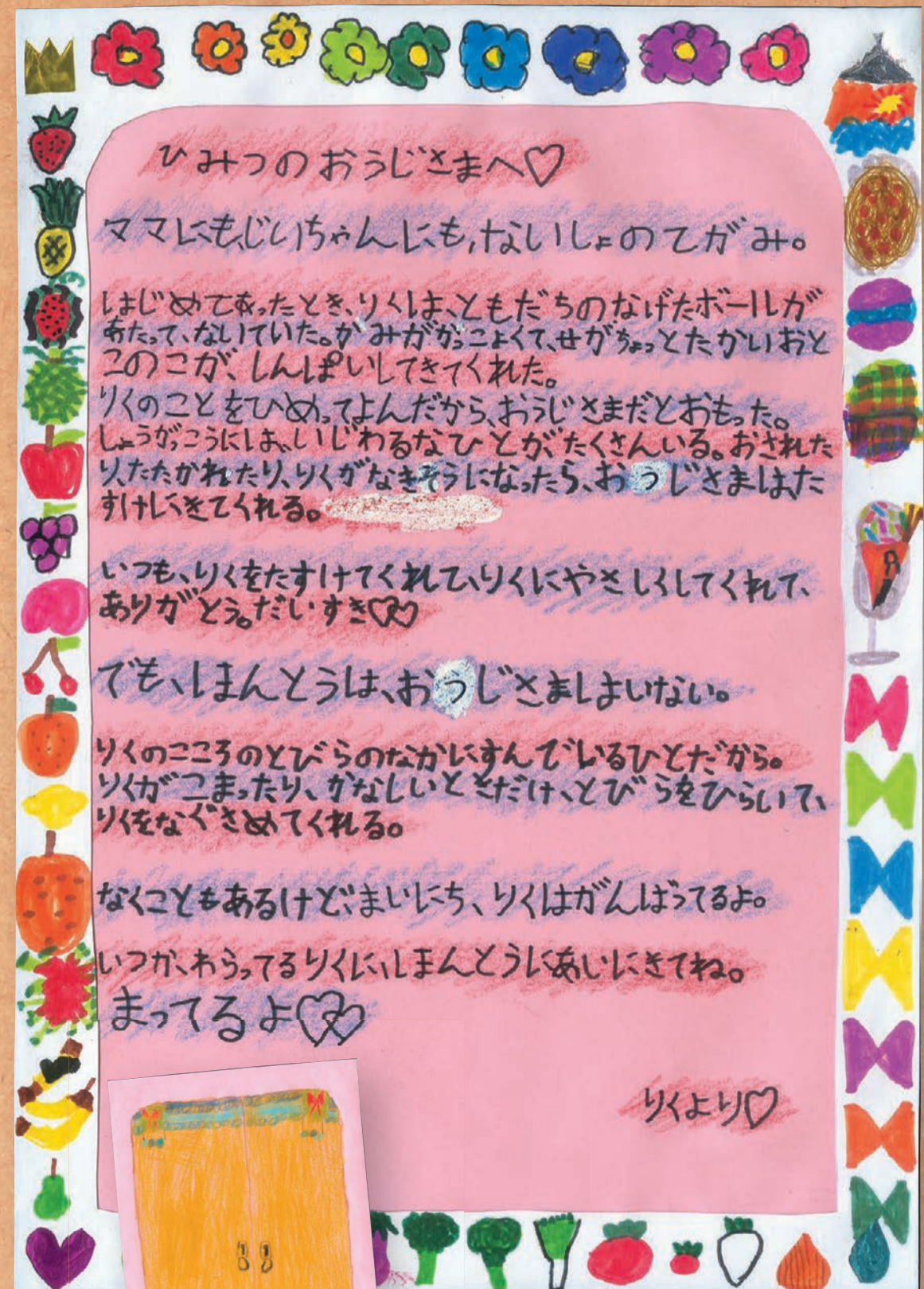
中部・東海 ブロック

最優秀作品賞

高 学年の部

栗林 紗菜さん(6年)  
安曇野市立豊科北小学校

審査員から \* 自分が一番つらかったときに、気持ちに寄り添い、毎日手紙をくれた友人への感謝。客観的な視点と友人への思いがしっかりと文で描かれている。



ひみつのおうじさまへ♡

ママにもじいちゃんにも、たぬいしゅのてがみ。

はじめであったとき、りくはともだちのなげたボールが当たって、なしていた。かみがかこよくて、せがちゃとたかいおとこのこが、しんぱいしてきてくれた。りくのことをひめて、よんだから、おうじさまとおもった。しょうが、こうは、いじわるなひとがたくさんいる。おされたり、たたがねたり、りくがなきぞうになったら、おうじさまはたすけてくれる。

いつも、りくをたすけてくれて、りくにやさしくしてくれて、ありがとう。だいすき♡

でも、いまんとうは、おうじさましんぱいしない。

りくのこころのとびらのなかいすんでいるひとだから。りくがこまたり、かなしいときだけ、とびらをひらいて、りくをなぐさめてくれる。

なくともあるけど、まいにち、りくはがんばってるよ。

いつか、わらってるりくに、いまんとうは、いかにきてね。まってるよ♡

りくより♡



関西 ブロック

最優秀作品賞

低 学年の部

播田 莉来さん(1年)  
藤井寺市立藤井寺小学校

審査員から \* 物語のように一気に読まされてしまう手紙。メルヘンのような展開の最後に、自分自身のさまざまな思いを集約した秀逸な表現に驚かされる。



## 大好きな弟へ

5年前に生まれてきてくれたわたしの弟は  
生まれつきの病気があり生まれて5日目で大学  
病院に転院して手術を受け命が助かったね。  
お母さんのお腹の中にいる時から、大腸全部と小腸  
40cmに神経がなかったので、手術で人工こう門を  
作ってもらい、1才までストーマを付けて生活するこ  
になったね。お母さんは「どんな形でも生きてくれ  
たら、それだけでいい」ととてお世話が大変だったけど  
何回も入院をくり返しながら毎日薬を飲んで、スク  
スクと育ってくれたね。1才の時に人工こう門を閉じて、こう門  
に小腸をつなぐ手術をしたね。1ヶ月位入院したけど元  
気に家に帰ってきてくれた時はとてもうれしかったよ。毎日  
一緒に遊んでも楽しい。年々入院の回数が減って  
安心してるよ。わたしは、健康だから元気なのがあたり前  
だけど、弟はそれがなかなか大変で、今でも薬を  
飲み続けているけど普通にくらせることがどん  
なに幸せかを感じているよ。一緒にボールや  
風船で遊んだり、トランプしたりできてうれしいよ。  
時々けんかをすることもあんだけど弟がいることが  
うれしいよ。これからも1日1日健康で一緒に  
成長していけるように手伝うね。大人になっても  
困る事があるかもしれないけどお姉ちゃんが守ってあ  
げたいと思っているよ。生まれてきてくれて、  
**ありがとう!**お姉ちゃんお



関西 ブロック

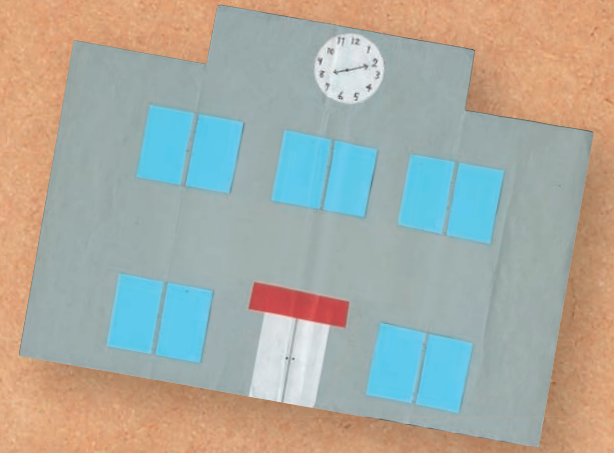
最優秀作品賞

中  
学年の部

きたむら ちい  
北村 千維さん(4年)  
長浜市立湯田小学校

審査員から

病気の弟への思いを、誕生から現在までの出来事とともに丁寧に描いている。ともに成長していこうという決意と愛情が強く伝わってくる。



## 39才の校舎へ

私は来年の3月で河合第三小学校を卒業します。  
1年生の時、入学して初めて友達が出来た教室も、6年間金管クラアの練習で何度も何度もチューバを吹きに通った音楽室も、友達といっしょに汗だくになつて遊んだ運動場も初めてミシンがけをしてうまく使えたりするようになったエプロンを見てはさすがだった家庭室も、やさしい笑顔でいつも先生が見守ってくれている保健室も、ギターと歌が大好きな校長先生や、いつでも河合第三小学校のみんなの味方でいてくれる先生がいる職員室も、私達6年といっしょに卒業するね。  
生徒の数が少なくなったので学校がこめされて無くなってほめるのは悲しいけれど、教室の窓から見た景色、教室の机の隙間、学校の満開の桜の木、ずとずと忘れないう。  
39年間ごくりさまでした。ありがとう。



塚本 さくら

時間割	
1	国語
2	算数
3	外国語
4	音楽
5	体育
6	家庭科
7	自由時間

関西 ブロック

最優秀作品賞

高  
学年の部

つかもと  
塚本 さくらさん(6年)  
河合町立河合第三小学校

審査員から

取り壊される校舎への感謝を、先生、友人と過ごした数々の思い出を軸に表現している。一人一人の表情が浮かぶ豊かな描写をしている。





中国・四国 ブロック

## 最優秀作品賞

低  
学年の部

せがわ れみ  
瀬川 礼美さん(2年)  
徳島文理小学校

審査員から

✿ 通学で使うバスの運転手さんへの感謝の気持ち。毎日の自分を支えてくれること、安心して学校に通うことができることの喜びをこどもらしく表現している。

まだ言えてないけどありがとうと  
言いたい人へ

私は支援学級に通う小学4年生です。私は人と会話をするのが苦手です。去年は普通級の友達が1人もできませんでした。

私はあんまりわらわないし、あいさつもしないので、いつもお母さんに、「もっとあいさつをしてニコニコしなさい」とおこられます。

4年生になっても、友達ができないと思っていました。でも、春の運動会でソーラン節をおどるときに、クラスの人達がやさしく話しかけてくれたり、教えてくれたりしました。それから夏の山の学校でもみんなのおしゃべりをたのしく聞けました。

支援級の友達は、授業中でも私が困ると助けに来てくれます。先生たちも、私がうまく言えなくても苦手をわかってくれたり、授業について来たりしてくれます。

やさしくしてくれてうれしいのになかなか言えないけど、クラスの人にも、友達にも先生にもわらって「ありがとう」と言いたいです。

中国・四国 ブロック

## 最優秀作品賞

中  
学年の部

かたやま みちる  
片山 弥千瑠さん(4年)  
岡山市立宇野小学校

審査員から

✿ 自分の苦手なこと、困ったことをさりげなく支え、助けてくれる友人、先生への感謝の気持ち。しっかりとした文章と言葉で素直に表現している。



おじいちゃん おばあちゃんへ

夏休みに体を無理して私と約束した北海道旅行に連れて行ってくださりありがとうございます。

6月の初めママから「おじいちゃんの頭に病気が見つかり検査しているから旅行に行けるかどうか分からなくなっちゃった」と言われた時、頭が真っ白になりました。その時は病気の事はよく分からなかったため旅行の事しか頭になく検査で病院に行く度「どうだ？旅行に行ける？」と旅行の事はかり心配していました。

両親から病気の説明があり初めて脳しんようという病気について聞き大変な病気だと知り心配でたまらなくなりました。まだ記おくかあるうちに皆で旅行に行こうと前向きに治療を頑張ってくれたおじいちゃん、支えてくれたおばあちゃん本当にありがとうございます。雨の予報だったけどほとんど雨もなく、見えないかもしれないと言われた動物も見えて本当に奇せきだったと思います。どうかおじいちゃんの体にも奇せきが起こりますように。たくさん、た写真、アルバムに残すと共に私の心のアルバムにもたくさん写真を残せました。宝物です。

おじいちゃんおばあちゃん大好きです。いつまでもいつまでも長生きしてください。ありがとうございます。



中国・四国 ブロック

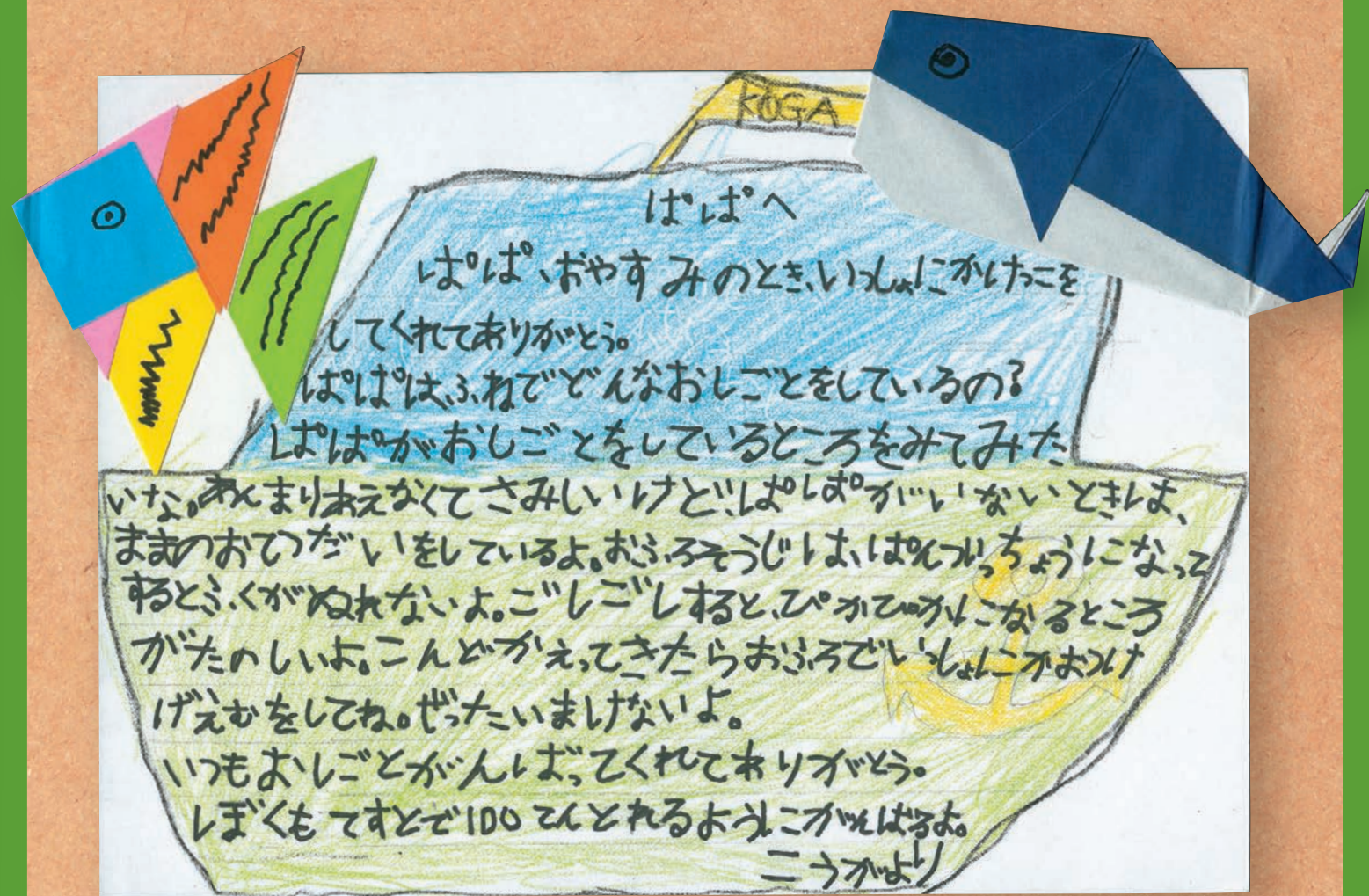
最優秀作品賞

高学年の部

おかだ みさき  
岡田 美咲さん(6年)  
徳島市立川内北小学校

審査員から

家族旅行を前に祖父の病を知ったことから、自分の気持ちの変化を見つめ、新しい視点で旅行の意義をとらえ、家族に感謝する気持ちを表現している。



はばへ

はば、おやすみのときいぬにかたこをしてくれてありがとう。

はばは、ふねでどんなおしごとをしているの？

はばはおしごとをしているところをみてみた

いた。あまりおえなくてさみしいけど、はばがいないときは、ままのおていぎをしているよ。おぶろそうじは、はばが、ちよになつておとぶくがぬれないよ。ゴレゴレすると、ピカピカになるところがたのしいよ。こんどがえってきたらおぶろでいしにカキつけえむをしてね。ぜったいまけないよ。

いつもおしごとががんばってしてくれてありがとう。

はばくもてすとで100とれるよ。はばはるよ。

こうがより

九州・沖縄 ブロック

最優秀作品賞

低学年の部

いしもと こうが  
石本 航雅さん(1年)  
鹿島市立鹿島小学校

審査員から

船に乗っている父への感謝。母を手伝って風呂掃除をする自分の日常の姿を生き生きと伝えることで、家族のために働く父への思いを表している。



# ボクのお母さん

ボクの家族は、7人家族です。お父さんは、仕事で、家にいません。お母さんが、ボク達5人を、一人で育ててくれています。ボクのお母さんが、「乳がんになりました。」お母さんが、余命を、伝えられた時は、先の見えない真っ暗なトンネルを、歩いているような気持ちでした。「健康あれば、なんでもできる、健康のありがたさを大事にしてね。」とお母さんがよく言います。毎年、七夕の日に、たんざくに、お願い事を書くとお願いがかなうと聞きました。ボクは、たんざくに、お願い事を書きました。「がんが、てんいしませんように、いたみを、やめらげて下さい」と。残された時間という不安で、心が、折れそうになることもあっても、お母さんは、ボク達のために、「笑顔」です。ボクは、まだ、身体は小さいですが、心は、だれにも負けません。ボクは、お母さんを、支えます。「ありがとう、感謝の気持ちで、いっぱいです。」大好きです。

# お母さんへ



私が小学校に入学して6年。後半でもう卒業だね。家の前の道路が通学路だけと車の交通量がとても多いよね。特に朝の登校する時間帯が多外から入学した時に心配だね。危ないなあ。とお母さんが言っていたのを覚えているよ。それから6年。毎朝、私が学校に行く時、ギュッとたきしめて車に気を付けてね。今日も1日は元気でね。と声をかけて送り出してくれているよね。私の姿が見えなくなるまでずっと見ていてくれて、曲がり角でふり返ると笑顔で両手をふってくれているね。まるで「行ってらっしゃい」「戻ってきます」と会話をするみたいにおたがいに手をふり合うのも6年間、毎日続いているね。おかげで私は、気持ちよく学校に登校する事ができているよ。ありがとうね。夕飯を食べてながら学校やお友達の事を話すと、じっくり話を聞いてくれて、なやみがある時には、一緒に悩んで解決する方法を考えてくれるよね。私は一人じゃないんだなあと思えてとてもうれしいよ。夜ねる時には朝と同じようにギュッとたきしめて今日一日元気に過ごせたね。ありがとうね。と言ってくれるよね。私や弟を、はいはいギュッと大七羽に想ってくれてありがとう。たくさん愛情を感じているよ。私は幸せです。

高山紗希より



九州・沖縄ブロック

最優秀作品賞

中  
学年の部

かわみつ てんしょう  
川満 天翔さん(4年)  
沖縄市立宮里小学校

審査員から

病気の母への深い愛情を手紙に綴る。遠くで働く父に代わって5人のこどもを支えている母への思い、七夕の短冊に書く願いごとの言葉が胸をうつ。

九州・沖縄ブロック

最優秀作品賞

高  
学年の部

たかやま さき  
高山 紗希さん(6年)  
始良市立始良小学校

審査員から

毎朝抱きしめてくれる愛情深い母への気持ち。どんなときも自分を見守り、困ったときは手を差し伸べてくれるという絶対的な信頼感に心打たれる。